

2017年 夏目漱石生誕150周年に向けて 夏目漱石記念施設整備プロジェクト vol.4

講演・音楽・落語「漱石の散歩道」



新宿区は、国民的文豪・夏目漱石(1867年～1916年)が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。
区では、漱石生誕150周年に当たる平成29年(2017年)2月の開館を目指し、「夏目漱石記念施設整備基金」を設置し、漱石にとって初の本格的な記念館の整備を進めています。
漱石やその作品の魅力と、記念館整備事業について情報発信する「夏目漱石記念施設整備プロジェクト」の第4弾イベントを開催します。
【問合せ】文化観光課文化資源係(本庁舎1階) ☎(5273)4126・☎(3209)1500へ。

【日時】27年 2月8日(日)午後2時～5時(午後1時15分開場)

【会場】四谷区民ホール(内藤町87)

【共催】朝日新聞社

【後援】東京理科大学



第1部 講演「漱石と物理学校」

【講師】藤嶋 昭(東京理科大学学長)

『坊っちゃん』の主人公は東京物理学校(現在の東京理科大学)の卒業生。同大学となじみの深い漱石や『坊っちゃん』を、世界的な化学の研究で知られる現在の学長、藤嶋昭さんが、科学者の目で語ります。

第3部

落語「東京の漱石」

漱石が愛した
落語の世界

若い頃から亡くなる直前まで漱石がこよなく愛した落語。漱石が聴いた古典の演目と、圓窓師匠による新作落語をお楽しみください。



三遊亭圓窓
新作落語

「吾輩は坊っちゃんである」



三遊亭王楽
古典落語

「野ざらし」

撮影・駒場和宏

第2部 演奏会「倫敦の漱石」 20世紀初頭のイギリス音楽の世界

【出演】浦井勝美(指揮)、湘南ゾリストン(演奏)
河野由里恵(バイオリン独奏)

【プログラム】▶エドワード・エルガー「弦楽セレナーデ」
▶グスターヴ・ホルスト「セント・ポール組曲」
▶フリッツ・クライスラー「ロンドンデリーの歌」(浦井勝美編曲)

漱石がイギリスに留学した2年余りの期間(1900年～1902年)は大英帝国の絶頂期。抒情的で美しいイギリス音楽が数多く生まれ、人々を魅了していました。エルガーやホルストの楽曲を、弦楽合奏します。

申込み

はがき(往復はがきではありません)かファックスに4面記載例のほか希望人数(2名まで)を記入し、1月7日(必着)までに文化観光課文化資源係(〒160-8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎1階)☎(3209)1500へ。小学生までは保護者同伴。定員300名程度。応募者多数の場合は抽選し、1月中旬に当選者のみに入場券をお送りします。

ともに創ろう、(仮称)「漱石山房」記念館

夏目漱石記念施設整備基金に ご支援・ご協力をお願いします

漱石ゆかりの新宿のまちに、初の本格的な漱石記念館を整備するため、多くの方にお力添えをいただきたいと考え、昨年7月から寄付を募集しています。12月5日現在で5,289万1,000円(912件)の寄付が寄せられています。

皆さんからの寄付は、記念館の建設と資料の収集に活用します。一口1,000円から寄付できます。引き続き、温かいご支援・ご協力をお願いします。

ゆうちょ銀行・ 郵便局の窓口・ ATM

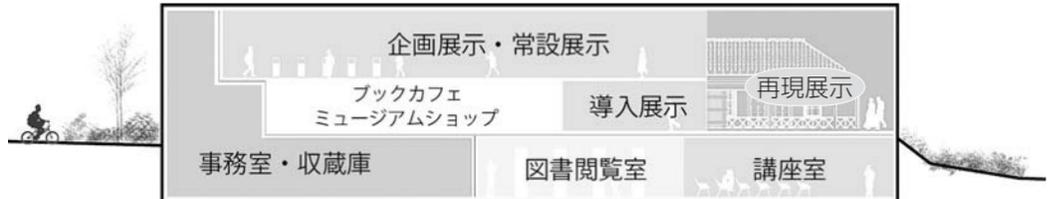
文化観光課・特別出張所・区立図書館等で配布しているパンフレット(右図)にはさみ込んである振替払込書(払込取扱票)に必要事項を記入し、お近くのゆうちょ銀行・郵便局の窓口・ATM(現金自動預払機)で払い込んでください。



漱石文学とともに、ゆったりとした時を過ごせる記念館に

漱石は、晩年の9年間を早稲田南町の家で暮らしました。数多くの名作を世に送り出したこの家は「漱石山房」と呼ばれ、今でも多くの人の記憶に刻まれています。区ではこの地に、漱石にとって初の本格的な記念館を整備します。

記念館のイメージ



- 書斎・客間・ベランダ式回廊など「漱石山房」の一部を再現
- 漱石の著作や関連する本を読める図書室やカフェを設置
- 常設展のほか、企画展やイベントで漱石やその文学の世界を紹介

整備の概要

記念館は、区立漱石公園に隣接する敷地を中心に、公園の敷地を含めて一体的に整備します。

【整備予定地】早稲田南町7

【施設概要】

- ・2階…展示室(企画展示、常設展示)
- ・1階…「漱石山房」再現展示、導入展

示、ブックカフェ、ミュージアムショップ

・地下1階…図書閲覧室、講座室、事務室・収蔵庫

●開館までのスケジュール

- ▶平成27年度 記念館建築工事着工
- ▶平成28年度 記念館開館(平成29年2月)